



袋高通信

あいのだより

'20 5月号

5月19日発行

通巻第176号

静岡県立袋井高等学校

感染予防の徹底を



校長

後藤 佐登美

保護者の皆様、お子様の御入学、二・三年生への進級おめでとうございます。季節に節目があるように、高校生活にも入学や進級という大切な節目があります。しかしその節目も今年はずかりました。

今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、新学期に入るとすぐ短縮による時差登校、そして三月について学校休業となりました。

生徒の皆さんにとっては授業もない、部活動もダメ、新しいクラスになしお暇もなかったのではないかと思います。

学校休業に入る前、校長からメッセージを全校生徒に放送で伝えました。

この感染症は世界の史実として歴史の教科書に載るほどの災害であると。また、感染症は必ずや終息する時期が来る。その時に人間力で大きな差がつ

いていることだろう。

このような危機に対応するには、所謂学校の勉強だけできてもダメ、他者に対する思いやりや感謝、自分で自分の行動をコントロールする意思力が重要です。大人でもなかなか自分自身をコントロールすることは難しい。不急不要の外出は控えるように行政がマスクを通して訴えても、東京都などは人出がなかなか減らない現状があります。県内でもじわりじわりと感染者が増加しています。目に見えないウイルスを相手に、私たちは何ができるのでしょうか。やはり正確な情報を把握し、自分で自分の行動をコントロールしていく以外に方法はないように思います。

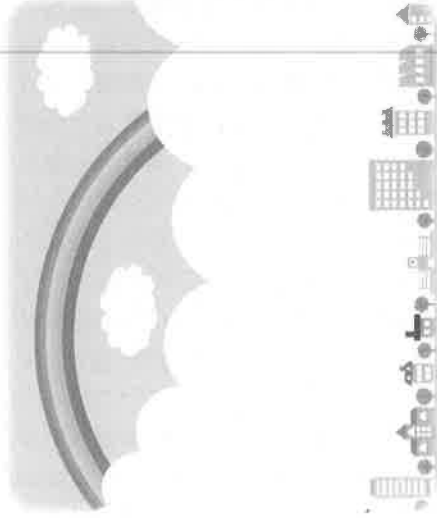
学校休業も長期間に及ぶと、ストレスもたまることでしょう。京都大学IPS細胞研究所の所長、山中伸弥先生は、このウイルスとの戦いを長距離マラソンに例えています。ともすると自分に負けそうになる弱い部分も当然あるのが人間ですが、今回は自分の命がかかっている、自分の周りの大切な人の命もかかっている。そのことを十分に承知しておいてほしいと思いま

す。若い人でも重症化する人も出てきています。生徒の皆さんが感染症に罹患しないで、学校休業が明けたところで元気の姿を見せてくれるのが、一番望んでいることでもあります。

平常時の巻頭言とはだいぶ違う文章となりましたが、四月十四日に書いてあります。御了承ください。

学校教育活動が再開した折には、教職員一同力を合わせて生徒の皆さんに温かく、時には厳しく指導してまいります。御家庭と協力して生徒の成長を促していきたいと思います。

一日も早く終息宣言が出ることを願って巻頭言といたします。



教務課より

教務課

今年度は三年生が1クラス減の7クラスとなり、男子145名、女子142名、合計287名の新入生を迎えて、全校生徒23クラス888名（男子456名、女子432名）でスタートしました。新入生は新しい生活への期待と不安を感じながら、二年生は袋井高校の中心的存在になっていく決意を持って、三年生は部活動の集大成に臨む緊張と受験生としての自覚とともに令和二年度を迎えたことでしょうか。

しかし、昨年末に初めて報告されてから感染が世界中に広がっている新型コロナウイルス感染症への対策のため、新年度開始1週間で、昨年末に続いて再度臨時休業となりました。これらの休業により、袋井高校に流れる時間は、例年とはずいぶん違うものになっています。卒業式、入学式は規模を縮小することで実施することができましたが、球技大会や修了式、離任式は中止となりました。また、新しいクラスの親睦を深める機会である遠足も実施されません。部活動においても、文化部がそれを目標に練習を重ねてきた発表会が中止となり、運動部では三年生にとって最後の試合になるかもしれない総体予選が延期され、実施の見通しも立っていません。そしてなにより、

学校生活の中心である授業が行われていません。生徒が登校せず、閑散とした学校にいて、「生徒あつこの学校」ということを、今更ながら強く感じます。

臨時休業中には登校日も設定されていますが、生徒は多くの時間を自宅で過ごすこととなります。各教科から出されている課題に取り組み、学力を維持してほしいと思います。さらにこの機会に、「やられる勉強」から「自ら取り組む勉強」への進化を遂げることができれば、この休業も無駄ではなかったこととなります。そのような生徒が、とくに三年生を中心に多く現れることを期待します。

今後も予定されていた学校行事の変更が予想されます。保護者の皆様におかれましては、学校からのお知らせを随時確認していただくよう、お願いいたします。一日も早く感染が終息し、このあいのだよりが発行される頃には、学校生活が正常に戻っていることを強く願っています。

(教務課長 河合良訓)

進路課より

進路課

特進クラスの結果

今年の入試では、文系特進と理系特進あわせて、国公立大学の合格者は

五十三人（文系二十七人、理系二十六人）でした。県内の大学では、静岡大学に八人、静岡県立大学に四人、静岡文化芸術大学に六人、浜松医科大学に三人という結果でした。センター試験では全国平均点が下降する中、本校では例年になく高得点を取った生徒が多く見られました（六百五十点以上十二名）。全国の出願状況を冷静に分析し合格を勝ち取る生徒や、最後までチャレンジする姿勢を賞き、中・後期試験で合格を勝ち取った生徒もいました（中・後期六名）。

また、東北大学（理）といった旧帝大や、アロック大学である筑波大学（理工）にも合格しました。互いに切磋琢磨し、励ましあつた環境がこの結果につながつたのだと思います。

特進クラス以外からも国公立大学に十八名が合格しました。特進クラスがリードする形で、学年全体が大学受験に向かつて行くことができました。

ただ、今年度から入試が変わります。大学入学センター試験から大学入学共通テストになり、問われる学力がより深くなります。例えば、英語では「テキストを読み事実や意見等を整理する力」、数学では、「情報過多の文章から必要な情報を取捨選択して解く力」、国語では「複数の文章から得られた情報を関連付けて理解する力」などです。今後の対応が求められます。

三年集中学習期間

三年生の集中学習を七月二十二日から七月二十五日の日程で、今年度から本校で実施します。昨年度の学習合宿に参加した生徒の感想に「他の人の学習法や集中法が聞けてよかった」「よい刺激を受けてその後の学習時間が増えた」といふものがあり、このことから当初の目的に適切な宿舎で過ごせたことが分かります。このことは、集中学習でも継続していきます。今年も特進クラスは原則全員参加とし、他のクラスも併せて一二〇名の規模で実施します。費用は補講に準じます。部活動引退後、受験勉強の体制作りには最適な機会ですので、三年生の積極的な参加を期待します。

補講

今年の三年生の土曜補講は予定では五月二十三日から始まり、六月三日から理社の平日放課後補講もスタートします。部活動引退後の学習習慣作りの一助として、積極的な参加を募集していきます。

募集期間については「一学期」「夏休み」「二学期」に分けて受講希望を取る予定です。このことにより、生徒の学習の進捗状況に応じた補講が可能になります。

二年生の土曜補講は五月二十三日から、一年生は六月六日からです。また、一・二年生の夏休み補講は前期のみ四日間です。後日、案内と申込書を配布しますので、積極的に参加してください。

進路室の自習机

進路室では自習机を二十四台設置しています。平日十八時三十分まで自習できます。教室とは明らかに違う、闊う雰囲気と満ちた空間を今年も大いに活用してください。

(進路課長 原田卓彦)

新学期を迎えて

生徒課

新学期が始まって一カ月が経過しましたが、私たちを取り巻く環境は誰も経験したことも想像したこともない未知のものとなっております。この袋井高校においても例外ではなく新学期早々の始業式は放送により行われ、一年生の晴れの舞台である入学式も規模を縮小して行われました。本来ならば3学年が初めて一堂に会して行われる対面式も放送で、また新入生に向けての部活動説明会も各部の紹介が記された説明文配布のみということで、皆さんには本当に迷惑をおかけしております。なお一学期に予定されている学校行事については、中止もしくは二学期以降へ延期という方針も出されており、生徒課最大の行事である5月29日・30日開催の本校文化祭「緑風祭」も中止となり、生徒会や各HRの実行委員、各文化部部長が中心となって文化祭の代替案となるものを模索している最中

です。令和二年度の一学期がこのような形でスタートし、まだまだ予断を計らない日々が続きますが、一年生は早く高校生活に慣れ、生活のリズムをつかんでほしいと思います。一年生は中堅学年としての自覚を持ち、後輩の指導と自己の生活を充実したものにしてください。三年生は高い進路意識を持つとともに、各部とも最後の大会・発表会に向け、悔いの残らないよう頑張ってください。

今年度も生徒課は以下の目標を基本として指導していきます。

1 部活動、特別活動でのきめ細やかな支援により、生徒の主体性、自立心の涵養を目指す。

昨年度と異なり、本年度は予定が全く立たない中でのスタートとなりました。本校の教育の柱は文武両道です。一年生の部活登録も調整段階に入っており、実際に先輩たちとともに活動している者も見られ、各部の活動も活気を帯びています。運動部にとってはどの部も総体予選が延期となり、大会自体がどうなってしまうのかと不安な気持ちを持っているのも事実ですが、三年生にとっては最後の大会ということで、今までの練習の成果を発揮して上位を目指して精一杯頑張るとともに、下級生へのバトンタッチをしつかり行い、良い伝統も引き継いでほしいと思います。部活動を通して体や心を鍛えると同時に学業との両立を目指し

て頑張ってもらいたいと思います。

そして、先述しました本校文化祭「緑風祭」ですが、生徒会が一年かけて計画している重要な行事です。また文化部にとってもこの緑風祭が集大成の場となっております。今年度は急遽、このようなこととなり例年通りの形で開催することはできませんが、生徒の3年間の活動が十分に発表され、生徒全員の思い出に残るよう努めてまいります。

2 きれいな教室・廊下、美しい身なり、気持ちの良い挨拶・言葉遣い、大きな声での校歌斉唱を目指す。

特に明るい挨拶や場に合った言葉遣い、マナーの向上に努めてください。遅刻に気を付け、8時20分には教室に入るよう心掛けてください。三年生は進路実現のため、早めに登校して教室で勉強する習慣をつけてほしいと思います。また、食事と睡眠に留意し、規則正しい生活を心がけてください。年度当初は自転車事故が多発します。特に一年生は中学時代と異なり、通学の距離が長くなり、保護者の皆様にとっては心配のことと思います。音楽を聴きながらの運転や携帯電話を使用しながらの運転は非常に危険で、自転車が加害者になる場合もあります。また、並進や一時停止義務違反も非常に危険です。命を守る観点からもマナーを守り、交通法規を守るよう御家庭におかれましては御指導をお願いいたします。

最後に、不審者に御注意をお願いします。昨年も多くの情報があり、被害を受けることもありましたが、できるだけ明るいところを通り、一人で帰らず、複数で帰る。もし、不審者にあつたらすぐに警察に通報する。以上についてよろしくお願いいたします。

(生徒課長 蔵原 純)

総務課より

総務課

新会員の皆様には、去る四月七日入学式後の地区会において、袋井地区から監事一名、評議員一六名（袋井南・掛川西、豊田の三地区は理事兼任）を選出していただきました。役員・評議員の方々をはじめ会員の皆様には様々な場面で御手数をお掛けしますが、本校の教育活動の推進、教育環境の整備のため力をお貸しいただきますようお願いいたします。

主なPTA行事予定をお知らせします。詳細につきましては、後日御案内いたします。

本年度中止の行事

- PTA・後援会総会
- PTAバザー（緑風祭）
- 授業参観（六月）
- PTA地区会
- 部活動保護者会

九月一日(金)

一学年の学年PTA

九月八日(金)

二学年の学年PTA

また、PTA評議員は三つの委員会活動を行っています。

- ・生徒・保健委員会
交通安全街頭指導、祭典補導等
- ・広報・保健委員会
学校行事の写真撮影等
- ・進路委員会
模試監督への協力等

PTA評議員の皆様には、各行事の駐車場係にも御協力いただいています。

総務課では、防災、奨学金(在校生・進学後)についても担当しております。

今年度もよろしくお願ひします。

(総務課長 久野正勝)

研修課の活動

研修課

研修課は教員の資質向上を目的とした様々な研修を統括している分掌です。県総合教育センター(掛川あすなろ)が主体となって教員を対象とした研修プログラムを企画立案し、それを各高等学校研修課が受け教員に参加を促すという流れになっています。研修内容は多岐に渡り、長期休暇などを利用し教育に関しての包括的な研修が行われています。教員の資質向上は、お子様

方の御成長にそのまま還元されるものであるとの考えのもと、積極的な参加が望まれます。

また国際交流の一環といたしましてオーストラリアの姉妹校、トマス・ハッサール・アングリカン・カレッジとの学校訪問を研修課の主催のもと相互に行つて参りました。本来ですと令和二年度は本校の生徒がオーストラリアで短期留学を行うことになっていましたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とさせて頂きました。参加を希望されていた御家族においては大変残念なことですが御了解ください。尚、今後の対応として、今年度の中止を受け来年度は本校生徒がオーストラリアで研修を行う形態を維持し、実施に向け立案中ですので合わせて御了解ください。

(研修課長 久野正幸)

日々の健康管理

保健厚生課

(1) 体調管理と免疫力

新型コロナウイルスによる感染が世界的に広がり、多くの人々の生活が制限される状況となっています。今後の一刻も早い感染終息を願つばかりです。このような状況から自分自身の体を守るためにも、引き続き日々の体調管理が大切になります。学校においても安

心して学習活動ができるように、教室の換気や消毒をこまめにし、生徒たちが密になる状況にならないよう注意を促しています。朝のSHRでは、担任が「健康観察」を実施し、生徒の体調を確認しています。御家庭においてもお子さんの体調管理、感染、発病に抗する免疫力を高めるための工夫をしていただければありがたいです。体調管理には規則正しい生活を習慣づける事が大切になり、そのためには十分な睡眠、適度な運動、食習慣がポイントとなります。御家庭での御協力をお願いします。

(2) 心のケア

本年度も「こころの健康調査」を実施し、生徒の心の状態の早期把握に努め、教育相談担当者と担任間で生徒の心の情報共有を定期的に行います。また、スクールカウンセラーによるカウンセリング日も月に2回程度校内で設定する予定です。カウンセリングについては、学校生活で生じる様々な問題を相談できますので、カウンセリングを希望する場合は養護教諭または教育相談担当までご連絡ください。

(保健厚生課長 横地 亨)

図書課より

図書課

この文章を書いているのは四月十四

日。

この「あいのだより」が発行される頃、日本は、世界はどうなっているのだろう。誰にも予想のつかない、この未曾有の大災害の中で、図書館は何かできるのだろうか考える。デジタルアーカイブが進んで、家でも本の検索や内容を確認できれば、言うことはないだろう。しかし地方や学校の図書館にはなかなか難しいことだ。

家でも読むことができる本や論文のサイトを紹介したり、お勧めしたい本を紹介すること。本を実際に手に取って探したり、選んでもらうことのできない状態で図書館にできることは限られる。

しかし、生徒たちがこの困難な出来事に、しなやかに力強く向き合うために必要な知識や知恵、教養や心の豊かさを育む一助となつていきたいし、ならなくてはならないと考える。脳科学者の養老孟司氏は、様々なところで彼の恩師の言葉である「教養とは人の心(のかなしみ)をわかる心を読む」を紹介している。生徒たちには「人の心のわかる教養の持ち主」になつてほしい。その思いで休校期間もそれ以後も、生徒たちの心の強さ、豊かさ、知恵や教養を育む為の力添えの方法を模索していきたい。

(図書課長 戸塚 恵)

袋井高校生の活動をお伝えします

広報課

広報課では、学校ホームページの運営、中学生向けのリーフレットの作成、夏に行われる中学生の高等学校一日体験入学や秋に実施される公開授業の企画・運営、学校新聞の発行などを行っています。

学校ホームページでは、「行事等ニュース」や「部活動ニュース」で袋井高校の様子をできるだけリアルタイムに紹介したいと思います。

昨年の一日体験入学では、夏の暑い時期にもかかわらず中学生八八八人、保護者二八八人、一〇〇人以上の参加がありました。秋の公開授業では中学生とその保護者、さらに在校生の保護者合わせて三八一人が来校しました。今年度も実施する予定でしたが、新型コロナウイルスによる休校など例年と同様の活動が難しい状況です。延期、縮小、中止などの対応をせざるを得ない事態になるかと思いますが、できるだけ袋井高校を理解していただく機会を提供したいと思います。

生徒たちが学業、行事、部活動などに取り組んでいる様子をお伝えしたいと思います。個人情報にも配慮しておりますので、ご協力をお願いいたします。

(広報課長 石川 泰三)

一年部

主任	副主任	11HR	12HR	13HR	14HR	15HR	16HR	17HR	学年付
落合 (数学)	杉浦 (保健体育)	杉浦 (保健体育) 横地 (理科)	速水 (数学) 増田 (国語)	土屋 (英語) 落合 (数学)	徳野 (数学) 西尾 (国語)	小林 (地歴・公民) 牧田 (地歴・公民)	長谷川 (理科) 三浦 (英語)	神原 (保健体育) 堀内 (英語)	紅林 (地歴・公民) 上村 (養護)

●本年度の取り組み

1. 「文理選択が主体的に行えた」と答える生徒 90% 以上
 2. 平均学習時間平日 120 分、休日 150 分以上
 3. 「公共心を持ち、常識をわきまえた生活ができた」と答える生徒 90% 以上
- 学年主任より
- 令和2年度新入生諸君、保護者の皆様、入学おめでとうございます。今年度、1 学年部は上記の取り組み目標を掲げ1 年後、そして3 年後を目指し指導していきます。生徒諸君は「スタート学習」で話をしましたように、「袋井高校生」としての自覚を持った行動を期待します。保護者の皆様、ご協力をお願いいたします。

(上段は正担任、下段は副担任)

二年部

主任	副主任	21HR	22HR	23HR	24HR	25HR	26HR	27HR	28HR	学年付
栗田 (地歴・公民)	伊藤 (英語)	藤澤 (英語) 蔵原 (保健体育)	鈴木綾 (家庭) 竹中 (数学)	塚田 (情報) 村松 (国語)	鮫島 (国語) 栗田 (地歴・公民)	伊藤 (英語) 戸塚 (国語)	鈴木教 (数学) 吉田 (理科)	加藤 (地歴・公民) 久野正勝 (理科)	山田 (保健体育) 金沢 (英語)	山下 (数学) 丸山 (理科)

●本年度の取り組み

1. 健康維持を心がけ規律正しい生活を実践し、高い次元での自己実現を図る。
 2. 探求心と集中力を養い、自己実現へ向けて学習を進める。
 3. 自らの目標を実現するための道筋をたてる。
- 学年主任より

(上段は正担任、下段は副担任)

2 年生は 308 名でスタートしましたが、例年とは全く違った状況でのスタートとなりました。新型コロナウイルス対策で休校となり、今後も予測が難しい状況です。そのような状況下でも、生徒たちには、高校2 年生の発達課題に前向きに取り組んで欲しいと思います。自分の将来の夢をみつつけ、道を開いていくことです。困難に負けず、目標をもって将来の夢に向かい、充実した生活を積み重ねて欲しいと思います。

